
開 会 挨拶

同志社大学 副学長 真山 達志

皆様、こんにちは。同志社大学副学長の真山と申します。会場校を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

大学コンソーシアム京都が主催されておりますFDフォーラムは、高等教育の質的向上と、京都からのFD活動の情報発信を目的として、1995年から開催されており、今回が20回目ということでございます。

人に例えますと二十歳、ちょうど成人式を迎える所で、大変記念すべき会をこの同志社大学で開催していただくことを大変嬉しく思っております。

今回は全国から938名のお申し込みをいただいているそうです。また、本日のこのシンポジウムにも787名の皆様にご参加いただいているということです。学年末近くになりまして、大変校務でお忙しい中かと思いますが、ご参加いただきまして本当にありがとうございます。節目にあたる20回目の大会にこのように多くの皆様にご参加いただきましたことを大変嬉しく、また光栄に存じます。

とりわけ、このFDフォーラムの開催にあたり、ご協力をいただきましたFDフォーラム企画検討委員会の先生方には心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

ここで少し同志社大学の紹介をさせていただきます。本学は1875年（明治8年）に、新

島襄によって創立された同志社英学校を出発点としております。今年の11月で創立140周年を迎える事になります。最初は8名の学生でスタートいたしましたが、この140年間の時間とともに大きく発展し、現在は14学部16大学院研究科、学生数も約30,000人弱という総合大学になりました。

皆様もご存知かとは思いますが、この同志社大学があります烏丸今出川という所はさまざまな歴史がございます。この会場のとなりに大聖寺門跡がございます。通りを挟みまして相国寺がございます。それから、本学の今出川キャンパスは、幕末の薩長同盟に向けた話し合いが行われたという薩摩藩邸跡です。大学と京都御所との間には冷泉家もがございます。そして皆様がいらっしゃいますこの寒梅館がある場所には、室町時代三代将軍の足利義満が造営した「花の御所」が位置していました。

この建物を建築する時に埋蔵文化財の発掘調査を行っており、様々な遺構、遺物が出ております。それらにつきましてはこのホールの外などに、いくつか展示しておりますので、お時間が許しましたらまたご覧頂ければ幸いです。

先程申し上げましたように、明治時代に入り、新島襄がキリスト教主義教育を行う学校

をこの地に建てました。当時としましては非常に斬新な事をやったわけでございます。そういう意味ではこの地は、まさに伝統と革新が織りなす京都らしい、京都を象徴するような場所ではないかと考えております。連綿と続く歴史と現代が交錯する地で未来に向かって様々な情報を発信していくという場所かと思っております。

皆様には今日、そして明日の2日間に渡りまして活発なご議論をいただきまして、今後の日本の高等教育の発展にご貢献いただければと思っている次第でございます。私自身も教学担当の副学長として、FDについても大学の責任者の立場にあります。したがって、本来でしたら、今日のシンポジウム等に参加させていただくべき所です。しかしながら、昨日から明日までの3日間、京田辺市にある

同志社大学のもう一つのキャンパスで、今回9回目となる「全国大学まちづくり政策フォーラム」をやっております。私は、その実行委員長という立場ですのでこの挨拶が終わりましたら京田辺キャンパスに参ります。そういう関係でせっかくの企画に参加できない失礼をしてしまいますが、お許しいただきたいと思えます。

夕方には戻ってきまして情報交換会には参加させて頂きますので、その節にはまたよろしく願いいたします。

これからシンポジウムの本番が始まりますけれども、有意義な時間をお過ごしいただけることをお祈りいたしまして、簡単ではございますが私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。